

証券コード6859

2025年度(2026年3月期) 第2四半期
エスペック株式会社 決算説明

2025年11月21日

代表取締役 執行役員社長 荒田 知

2025年度上期 決算概要

- ・AI半導体関連の電子部品・電子機器の試験需要が堅調、北米では衛星通信関連の投資が好調
受注高は過去最高を更新するも、大型製品や複数台一括の長納期案件が多く、売上高は前年同期並み
- ・利益面は、カスタム製品の収益性改善は進んでいるが、EV需要減速に伴う受託試験サービスの収益性悪化や中国における競争激化により前年同期比で減少
- ・上期の進捗を踏まえ通期業績予想を修正、配当は修正なし、株主還元方針に基づく自社株買いの実施を発表

	前年同期比		期初予想比	
■受注高	○	特に装置事業(環境試験器)とその他事業が増加	○	装置事業(主に環境試験器)とその他事業が上回る
■売上高	△	装置事業は半導体関連装置が増加したが環境試験器は長納期案件が多く減少、エネルギーデバイス装置も減少。サービス事業は受託試験が伸びず前年同期並み	×	装置事業は半導体関連装置が増加したが環境試験器は長納期案件が多く減少。サービス事業は主に受託試験が下回る
■営業利益	×	売上高の遅れおよび原価率の悪化により減少	×	売上高の未達および原価率の悪化により下回る
■親会社株主に帰属する中間純利益	×	営業利益の減少により減少	×	営業利益の未達により下回る

■ 配当予想 中間45円、期末70円、年間115円

2025年度通期業績予想

(百万円)

	2024年度	2025年度						
	通期実績	期初予想			上期実績	予想(11/13修正)		
		上期	下期	通期		下期	通期	前期比
受注高	67,514	33,500	32,500	66,000	38,636	30,364	69,000	+2.2%
売上高	67,288	31,000	37,000	68,000	30,322	37,678	68,000	+1.1%
売上総利益 利益率(%)	23,987 35.6%	11,500 37.1%	13,900 37.6%	25,400 37.4%	10,554 34.8%	13,646 36.2%	24,200 35.6%	+0.9% ±0pt
販管費 販管費率(%)	16,460 24.5%	8,150 26.3%	8,750 23.6%	16,900 24.9%	7,947 26.2%	8,653 23.0%	16,600 24.4%	+0.8% △0.1pt
営業利益 利益率(%)	7,526 11.2%	3,350 10.8%	5,150 13.9%	8,500 12.5%	2,607 8.6%	4,993 13.3%	7,600 11.2%	+1.0% ±0pt
経常利益 利益率(%)	7,793 11.6%	3,450 11.1%	5,200 14.1%	8,650 12.7%	2,704 8.9%	5,045 13.4%	7,750 11.4%	△0.6% △0.2pt
親会社株主に帰属 する当期純利益 利益率(%)	6,003 8.9%	2,500 8.1%	3,690 10.0%	6,190 9.1%	1,912 6.3%	3,887 10.3%	5,800 8.5%	△3.4% △0.4pt
1株当たり 当期純利益(円)	274.97	114.51	169.02	283.53	87.49	177.61	265.10	△3.6%
ROE	11.0%	—	—	11.0%	—	—	10.0%	△1.0pt

2025年度通期業績予想の考え方

- ・受注高は、中計ターゲット市場のAI半導体、北米の衛星通信を中心に堅調、通期計画を上方修正
- ・売上高は、受注残高の消化が進むとともに、比較的納期の短い標準製品の販売強化による売上拡大を見込んでいることから、期初計画を据え置く
- ・利益面は、装置事業は利益率向上が進み、中国の収益改善も見込むが、EV需要減速に伴う受託試験サービスの挽回は難しく、下方修正

2025年度上期 損益の状況

(百万円)

	2024年度 2 Q累計実績	2025年度 2 Q累計予想	2025年度 2 Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	36,621	33,500	38,636	+5.5%	+15.3%
売上高	30,464	31,000	30,322	△0.5%	△2.2%
売上原価 原価率	19,326 63.4%	19,500 62.9%	19,767 65.2%	+2.3% 1.8pt悪化	+1.4% 2.3pt悪化
売上総利益	11,137	11,500	10,554	△5.2%	△8.2%
販管費	7,841	8,150	7,947	+1.3%	△2.5%
営業利益 利益率	3,296 10.8%	3,350 10.8%	2,607 8.6%	△20.9% 2.2pt悪化	△22.2% 2.2pt悪化
経常利益	3,398	3,450	2,704	△20.4%	△21.6%
親会社株主に帰属 する中間純利益	2,452	2,500	1,912	△22.0%	△23.5%

2025年度上期 セグメント別の損益の状況

(百万円)

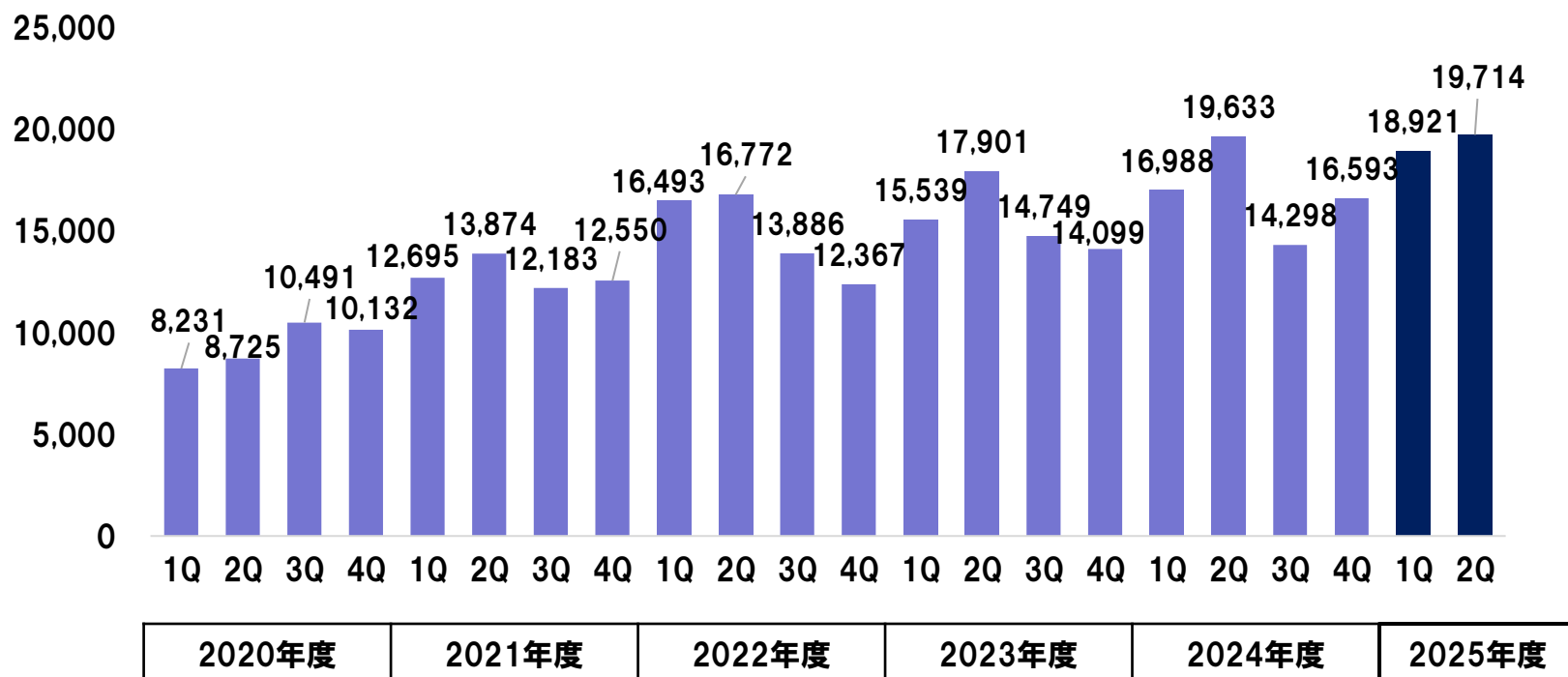
		2024年度 2Q累計実績	2025年度 2Q累計予想	2025年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
装置事業	受注高	31,868	28,430	33,127	+3.9%	+16.5%
	売上高	26,469	26,420	25,887	△2.2%	△2.0%
	営業利益	3,013	2,910	2,551	△15.3%	△12.3%
サービス事業	受注高	4,176	4,520	4,224	+1.2%	△6.5%
	売上高	3,701	4,210	3,780	+2.1%	△10.2%
	営業利益	324	490	56	△82.4%	△88.4%
その他事業	受注高	808	800	1,500	+85.6%	87.6%
	売上高	521	600	880	+68.7%	46.8%
	営業利益	△31	△50	△2	-	-
連結消去	受注高	△232	△250	△215	-	-
	売上高	△227	△230	△226	-	-
	営業利益	△10	0	1	-	-
計	受注高	36,621	33,500	38,636	+5.5%	+15.3%
	売上高	30,464	31,000	30,322	△0.5%	△2.2%
	営業利益	3,296	3,350	2,607	△20.9%	△22.2%

2025年度上期 受注高

- 受注高は前年同期比で減少予想だったが、ターゲット市場のAI半導体関連が堅調、北米では衛星通信関連が想定以上に拡大、東南アジアは半導体、エレクトロニクス関連の投資が好調、上期受注高は、5期連続で過去最高を更新

四半期ごとの受注高推移

(百万円)

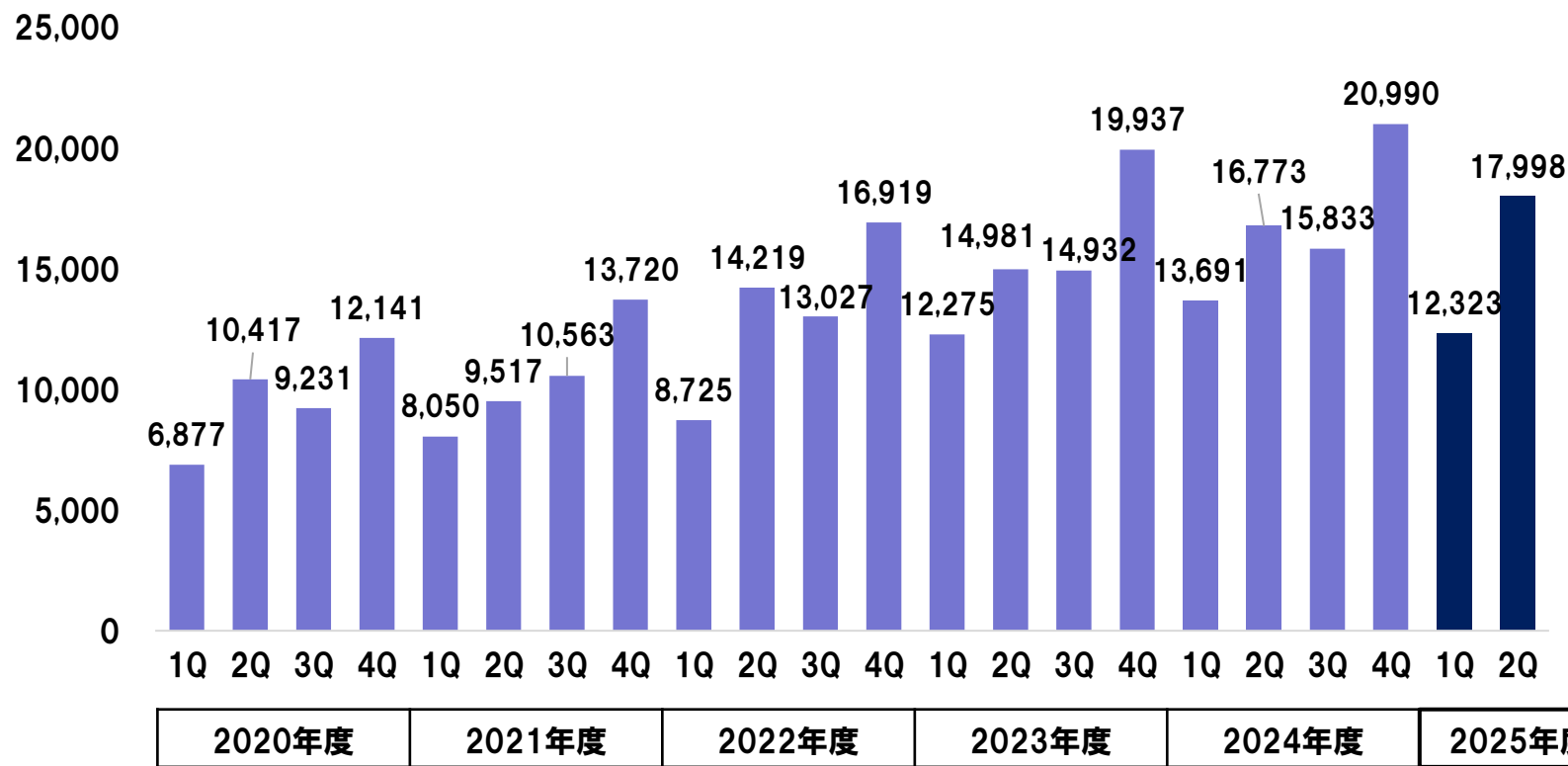


2025年度上期 売上高

- 長納期案件の増加により、第2四半期に売上が集中
上期売上高は前年同期並み

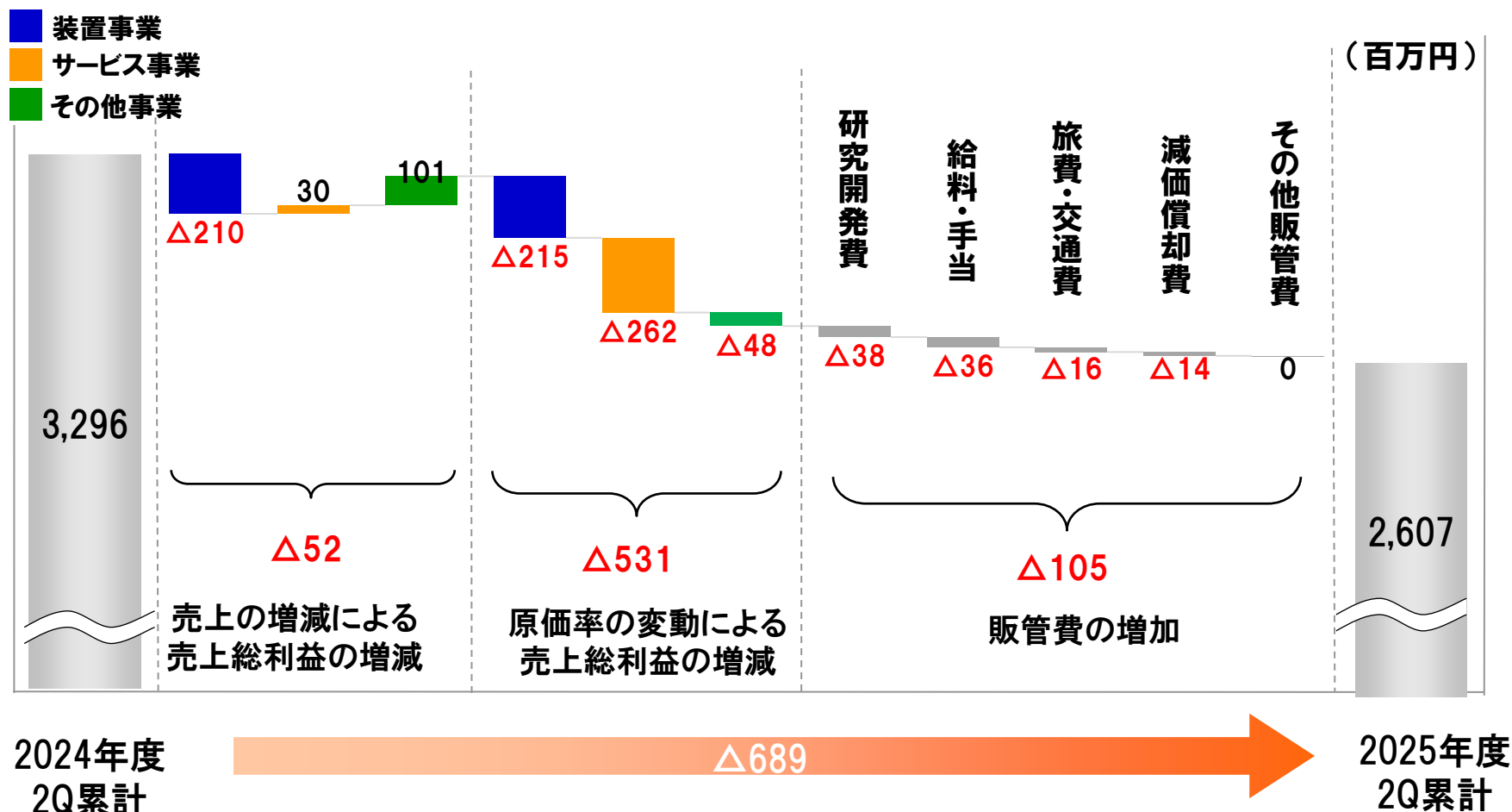
四半期ごとの売上高推移

(百万円)



上期営業利益の増減要因分析

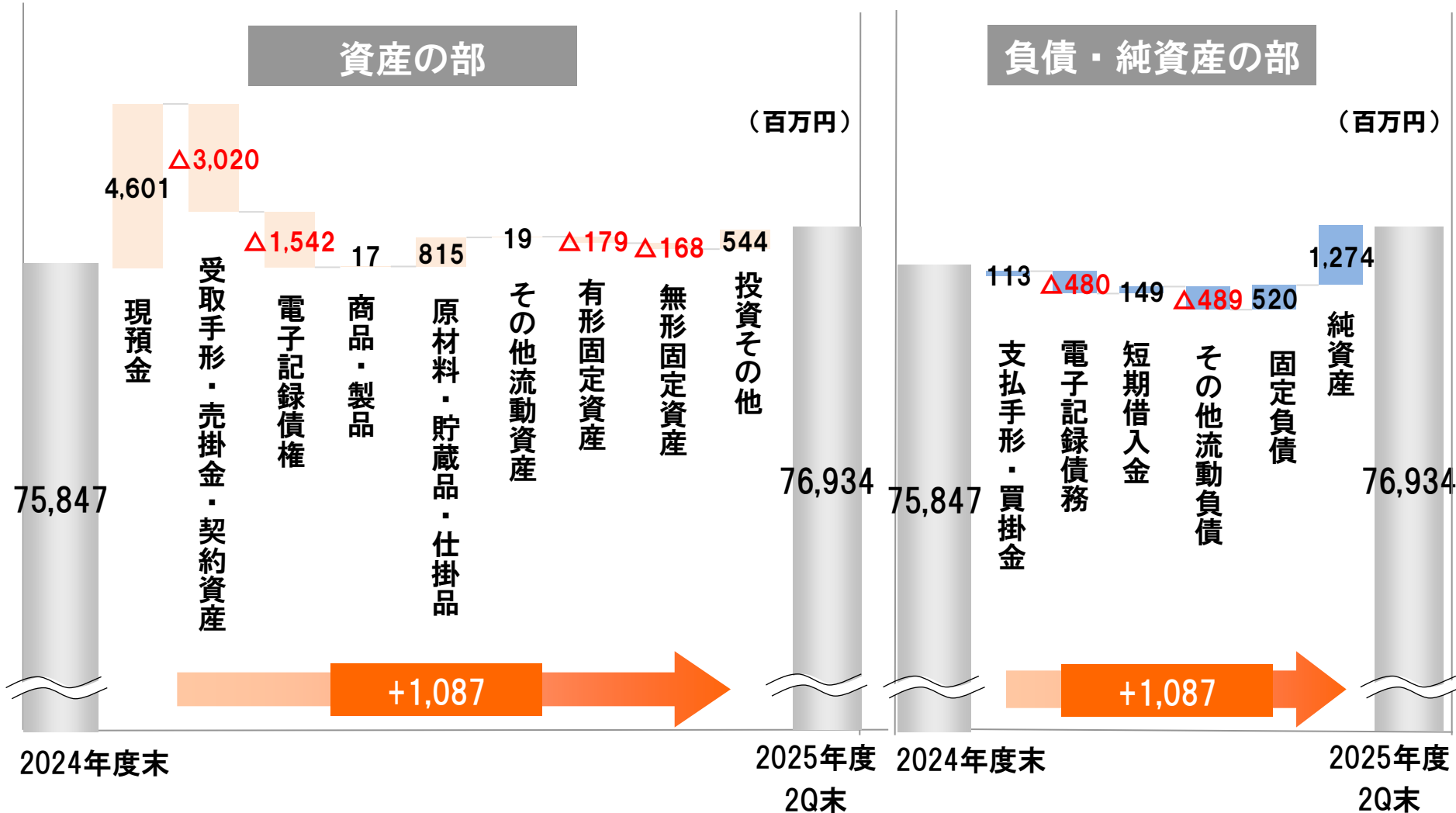
- 装置事業は、長納期案件の増加による売上高の遅れや、カスタム製品の収益性改善は進んでいるものの中国における競争激化により減益。サービス事業は受託試験の売上が伸びず原価率が悪化し減益。販管費は成長に向けた研究開発費や受注拡大に伴う活動費が増加



※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

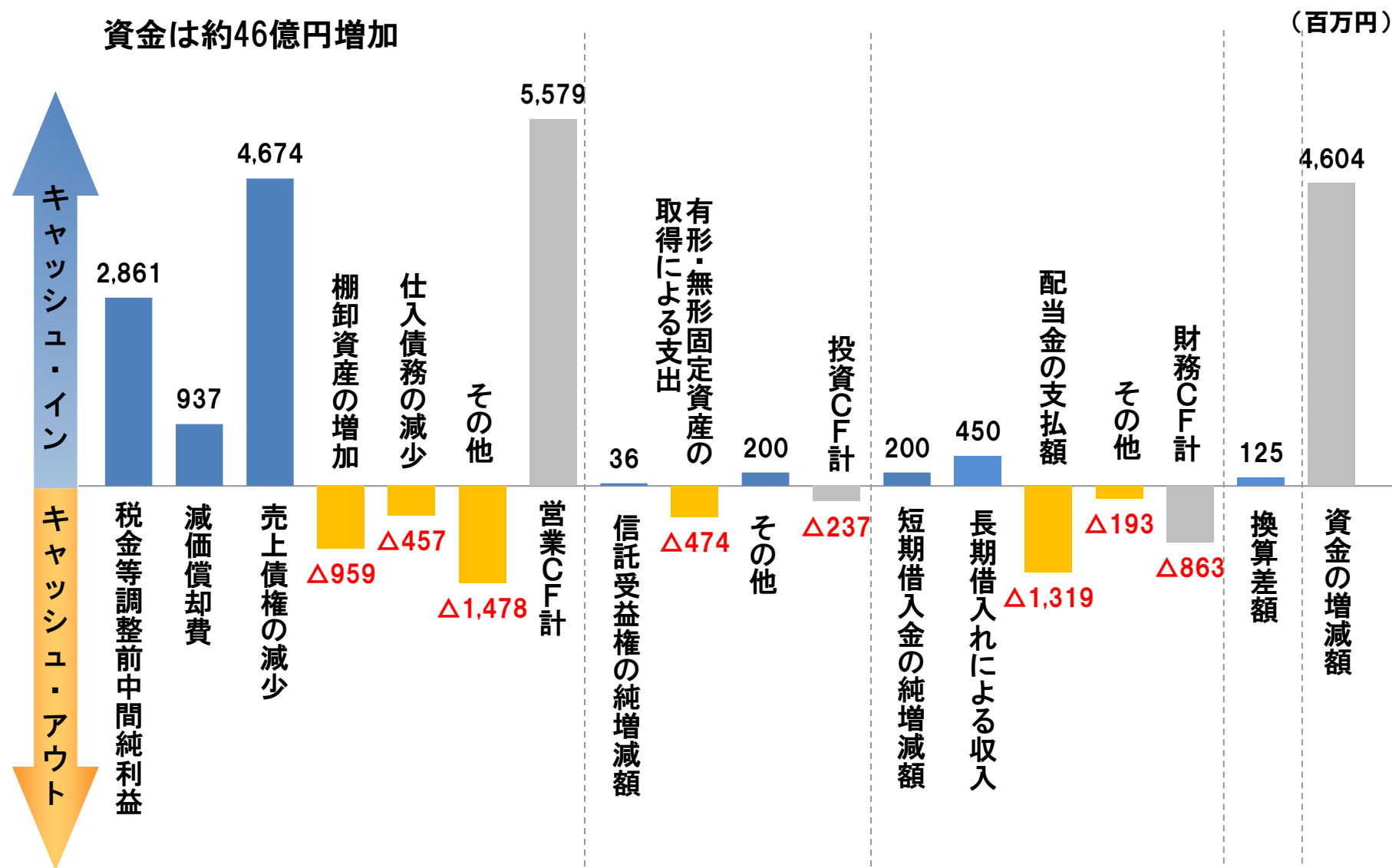
資産・負債の状況

■ 売上債権の回収が進み現預金が増加するとともに、受注残高の増加により棚卸資産が増加し、総資産は約11億円増加



キャッシュフローの状況

■ 主に税金等調整前中間純利益の計上や売上債権の減少により、
資金は約46億円増加



装置事業セグメント

(百万円)

	2024年度 2Q累計実績	2025年度 2Q累計予想	2025年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	31,868	28,430	33,127	+3.9%	+16.5%
売上高	26,469	26,420	25,887	△2.2%	△2.0%
営業利益	3,013	2,910	2,551	△15.3%	△12.3%
利益率	11.4%	11.0%	9.9%	△1.5pt	△1.1pt

環境試験器

- 国内では、汎用性の高い標準製品は前年同期比で受注高・売上高ともに増加
カスタム製品は、EV・バッテリー関連を中心に好調であった前年同期と比較して
受注高は減少したものの、売上高はAI半導体関連が堅調に推移し増加
- 海外では、前年同期比で受注高は北米、東南アジアにおいて大幅に増加したが、
長納期案件が多く売上高は減少

エナジーデバイス装置

- EVバッテリー向け投資が一巡し、前年同期比で受注高・売上高ともに大幅に減少

半導体関連装置

- 受注高は前年同期比で減少したが、売上高はAIサーバー用電子部品向け一括案件の売上計上
により大幅に増加

サービス事業セグメント

(百万円)

	2024年度 2Q累計実績	2025年度 2Q累計予想	2025年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	4,176	4,520	4,224	+1.2%	△6.5%
売上高	3,701	4,210	3,780	+2.1%	△10.2%
営業利益	324	490	56	△82.4%	△88.4%
利益率	8.8%	11.6%	1.5%	△7.3pt	△10.1pt

アフターサービス・エンジニアリング

- 予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

受託試験・レンタル

- EV需要減速に伴う投資抑制や開発計画の変更の影響を受け、前年同期比で受注高が減少し、売上高は前年同期並み

その他事業セグメント

(百万円)

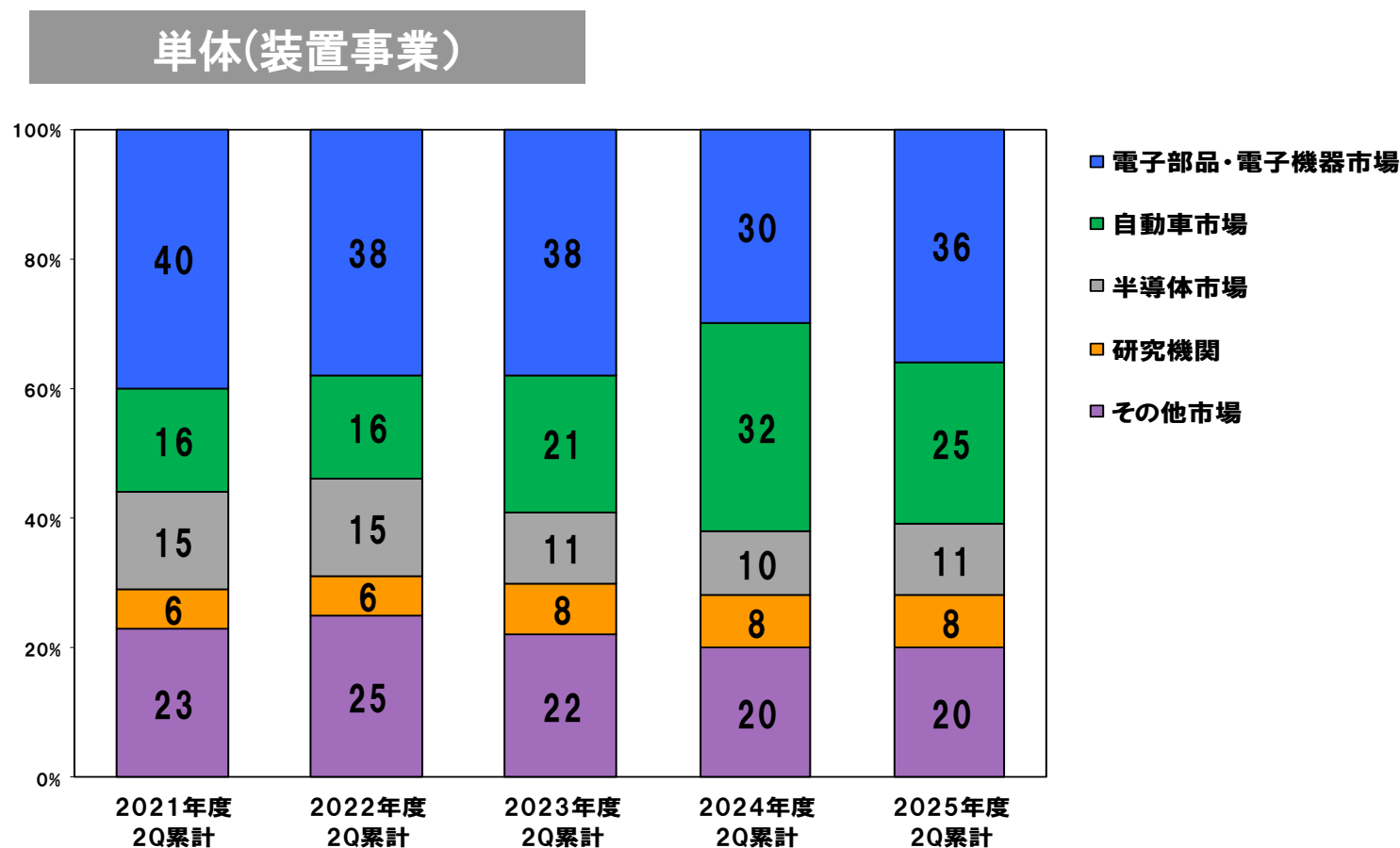
	2024年度 2Q累計実績	2025年度 2Q累計予想	2025年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	808	800	1,500	+85.6%	+87.6%
売上高	521	600	880	+68.7%	+46.8%
営業利益 利益率	△31 △5.9%	△50 △8.3%	△2 △0.3%	-	-

環境保全・植物育成装置

- 植物工場の大型案件を獲得するとともに、植物研究用装置や森づくりも堅調に推移

市場別売上構成比

- 電子部品・電子機器、半導体市場は、AI半導体関連の試験需要が増加し構成比が上昇
- 自動車市場は、EV・バッテリー関連の投資に一服感が見られ構成比が低下

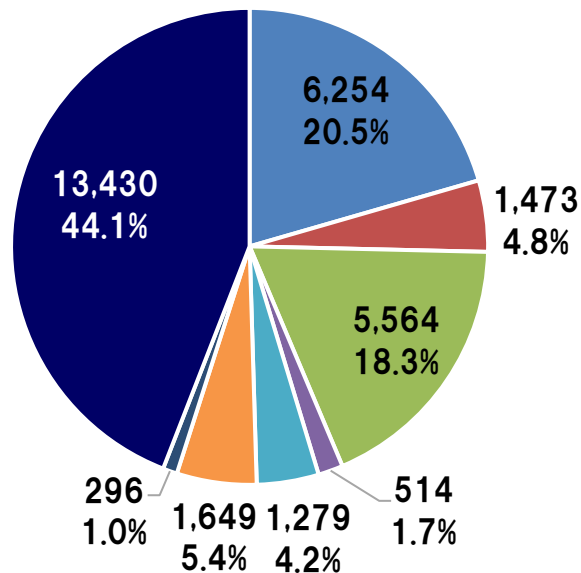


地域別売上構成比

- 売上高は日本、東南アジア・インド、台湾、韓国が増加。
北米は受注好調も長納期案件が多く減少、中国は前年同期並み

2024年度 2Q累計

海外売上高比率:55.9%



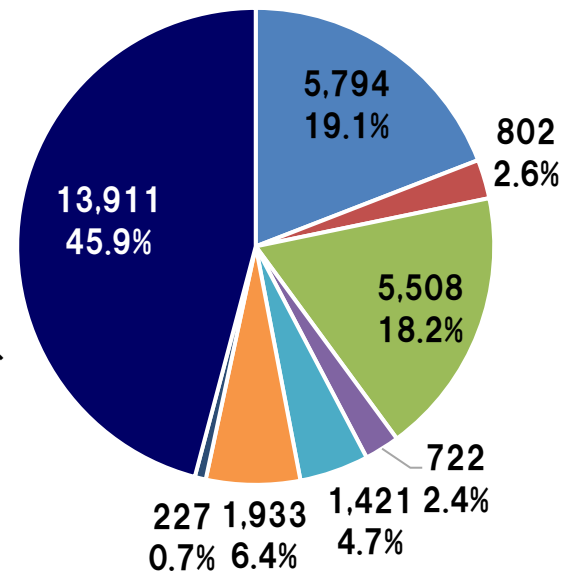
計 30,464百万円

海外売上高:17,033百万円

2025年度 2Q累計

海外売上高比率:54.1%

- 北米
- 欧州
- 中国
- 台湾
- 韓国
- 東南アジア・インド
- その他
- 日本



計 30,322百万円

海外売上高:16,410百万円

中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」の進捗状況

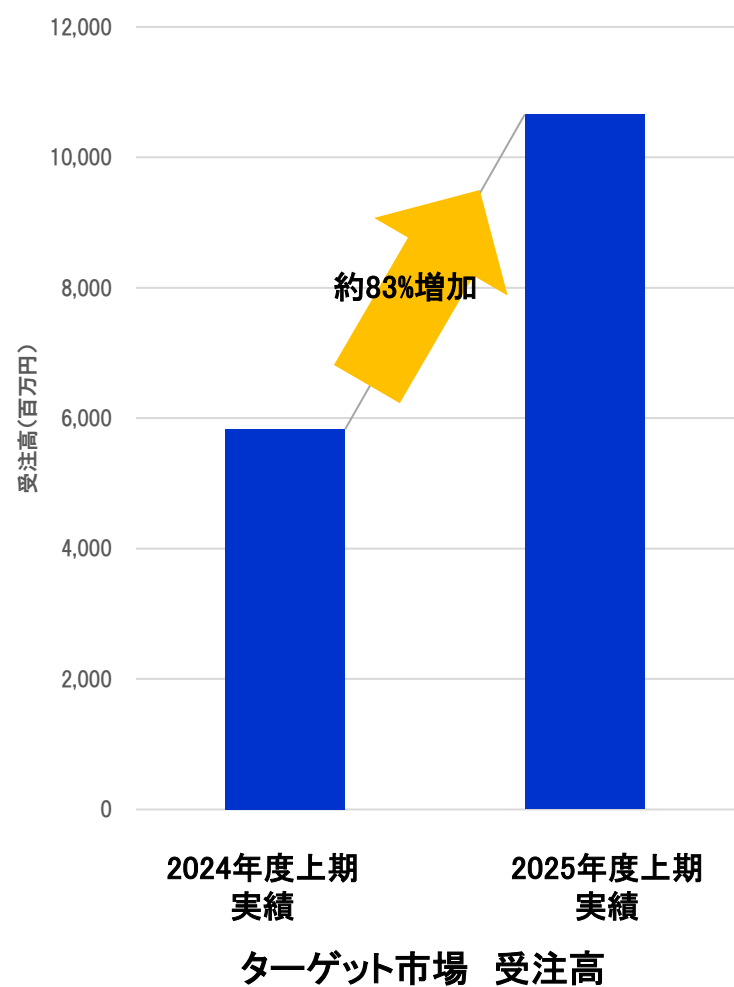
- ・中計「PROGRESSIVE PLUS 2027」(2025～2027年度)の初年度として、ターゲット市場の開拓やモノづくりの高効率化に向けた投資計画策定、新製品開発は計画通り進捗
- ・株主還元方針に基づき、11月13日に自社株買いの実施を発表
- ・成長戦略の着実な実行と収益性改善施策の強化により基本方針「筋肉質で持続可能な高利益体質の確立」を目指す

■中計 2027年度目標

売上高 700億円
営業利益 105億円
営業利益率 15.0%
当期純利益 76億円
ROE 12.0%以上

中計 ターゲット市場の試験需要と開拓状況

■ ターゲット市場（AI半導体、自動運転、衛星通信）の受注高は、AI半導体は日本、東南アジアが好調、また北米にて衛星通信が拡大し、前年同期比で約83%増加



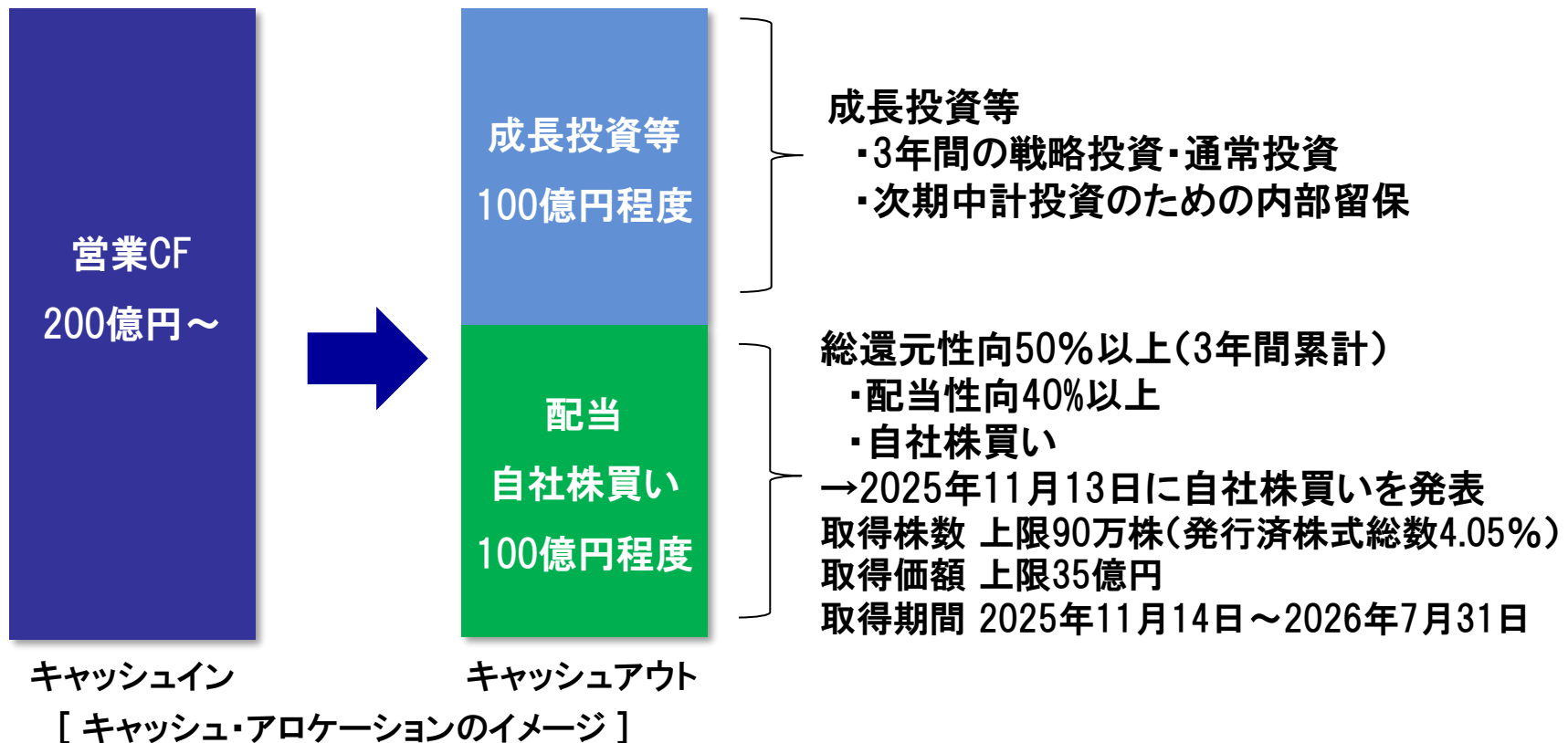
市場	試験対象	提供製品
AI半導体	AIサーバー 半導体 電子部品・材料 HDD、SSD	ハイパワー恒温恒湿器 急速温度変化チャンバー 恒温恒湿器・室 冷熱衝撃装置 高度加速寿命試験装置 HDD検査装置 計測システム
自動運転	統合ECU センシングデバイス	ハイパワー恒温恒湿器 恒温恒湿器 小型環境試験器 冷熱衝撃装置
衛星通信	小型人工衛星 人工衛星搭載部品	HALT試験装置 ハイパワー恒温恒湿器 冷熱衝撃装置 恒圧恒温恒湿器

キャッシュ・アロケーション方針(2025～2027年度)

キャッシュ・アロケーション方針

3年間で創出したキャッシュを成長投資と株主還元積極的に配分する

■配当と自社株買いで総還元性向50%以上(3年間累計)の株主還元を実施



株主還元方針と2025年度配当予想

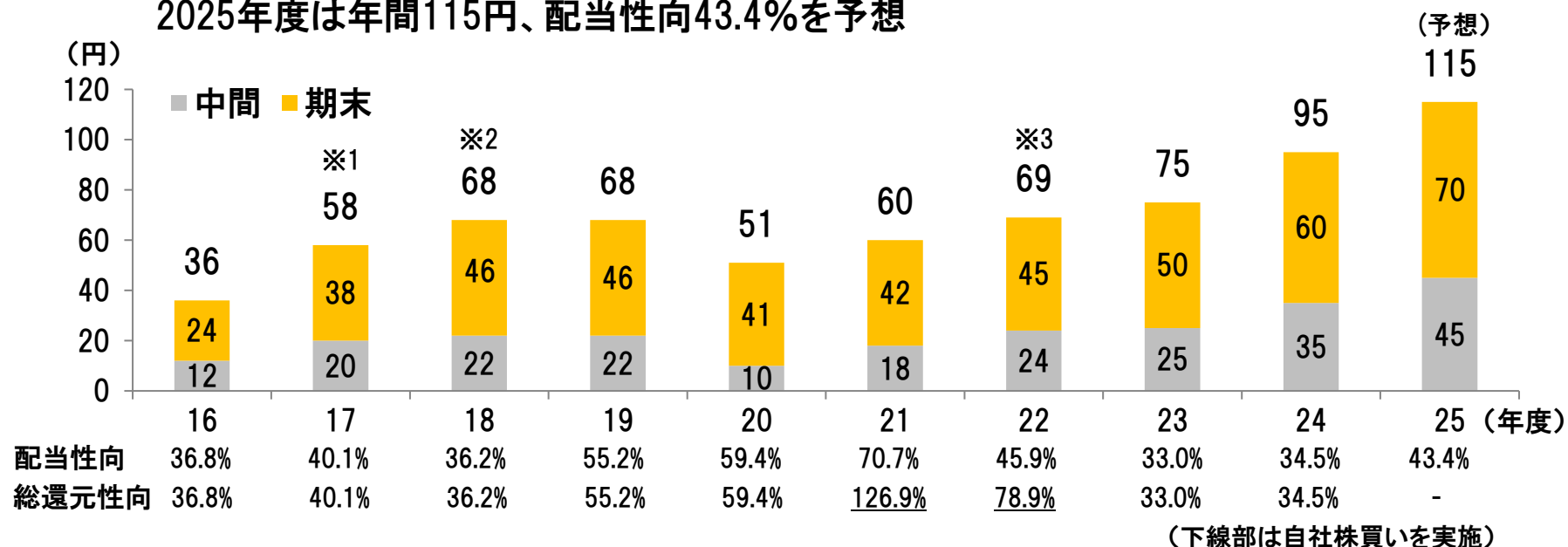
株主還元方針

配当性向を40%以上とし自己株式取得を機動的に実施

中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」(2025～2027年度)の期間は、
3年間累計で総還元性向を50%以上とし減配しない

一株当たり配当金と配当性向・総還元性向

2025年度は年間115円、配当性向43.4%を予想



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

2025年度 環境認識

中計ターゲット市場のAI半導体、衛星通信を中心にグローバルに受注獲得を目指す

装置事業	環境試験器	<p>日本 :EV・バッテリー向け投資(主に生産用途)は減少、 AI半導体関連の投資は堅調</p> <p>中国 :自動車関連は低迷、半導体・エレクトロニクスは堅調</p> <p>ASEAN:半導体・エレクトロニクスが好調</p> <p>インド:半導体関連が好調、自動車(四輪、二輪)も堅調</p> <p>北米 :衛星通信関連を中心に好調</p> <p>欧州 :経済減速により低調</p>
	エナジーデバイス装置	EVバッテリー向け投資の一巡により低調
	半導体関連装置	メモリ向けは低調、AIサーバー向けバーンイン装置や計測システムは堅調
サービス事業	アフターサービス 受託試験・レンタル	<p>アフターサービス :保守契約拡販により堅調に推移</p> <p>受託試験 :EVバッテリー関連の試験は踊り場、バッテリー以外の 電動化・自動運転モジュール向け環境試験は堅調</p>
その他事業	環境保全 植物育成装置	植物工場や植物研究用装置など植物育成装置が堅調

2025年度 セグメント別の業績予想

(百万円)

		2024年度	2025年度	2025年度			
		通期実績	通期 期初予想	上期 実績	予想(11/13修正)		
					下期	通期	前期比
装置事業	受注高	57,283	55,500	33,127	25,513	58,640	+2.4%
	売上高	57,507	57,600	25,887	31,672	57,560	+0.1%
	営業利益	6,610	7,340	2,551	4,428	6,980	+5.6%
	利益率	11.5%	12.7%	9.9%	14.0%	12.1%	+0.6pt
サービス事業	受注高	8,532	9,200	4,224	4,295	8,520	△0.2%
	売上高	8,425	9,200	3,780	4,859	8,640	+2.5%
	営業利益	793	1,080	56	443	500	△37.0%
	利益率	9.4%	11.7%	1.5%	9.1%	5.8%	△3.6pt
その他事業	受注高	2,170	1,800	1,500	840	2,340	+7.8%
	売上高	1,758	1,700	880	1,419	2,300	+30.8%
	営業利益	126	80	△2	123	120	△5.5%
	利益率	7.2%	4.7%	△0.3%	8.6%	5.2%	△2.0pt
連結消去	受注高	△472	△500	△215	△285	△500	-
	売上高	△403	△500	△226	△273	△500	-
	営業利益	△4	0	1	△2	0	-
計	受注高	67,514	66,000	38,636	30,364	69,000	+2.2%
	売上高	67,288	68,000	30,322	37,678	68,000	+1.1%
	営業利益	7,526	8,500	2,607	4,993	7,600	+1.0%
	利益率	11.2%	12.5%	8.6%	13.3%	11.2%	±0pt

2025年度 投資計画

中計3年間の成長投資計画95億円、研究開発費計画48億円は変更なし

(百万円)

	2024年度	2025年度			
	通期実績	上期実績	予想(修正なし)		
			下期	通期	前期比
設備投資額	3,690	719	1,871	2,590	△29.8%
減価償却費	1,716	927	1,063	1,990	+15.9%
研究開発費	1,343	730	1,100	1,830	+36.2%

■2025年度

主な投資内容

- ・福知山工場の生産設備増強
- ・国内子会社の生産能力強化
(事業所移転)

主な開発内容

- ・先端技術分野の製品ラインアップ拡充
(主力製品のモデルチェンジ、機種追加)
- ・低GWP冷媒など環境配慮型製品の拡充

2025年度 想定為替レート

■想定為替レート

	2024年度		2025年度	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期想定
USDドル(円)	152.77	152.62	146.03	145
ユーロ(円)	166.05	163.87	168.05	160
元(円)	21.16	21.11	20.29	20

2025年度為替感応度 (百万円)

	売上高	営業利益
USDドル	+74	+11
ユーロ	+15	+10
元	+51	+9

※1円円安(元は0.1円)変動時の影響

2025年度 主な取り組み

装置事業

- ・受注残高の消化、標準製品の販売強化、カスタム製品の収益性改善の継続
- ・ターゲット市場の試験ニーズに合致した高付加価値製品の開発および販売強化

サービス事業

アフターサービス：サービス技術料見直し、稼働率改善による原価低減
受託試験：電動化・自動運転モジュール、航空機器関連の受注拡大

エリア戦略

日本：AI半導体、自動運転分野での営業活動強化、買い替え需要の獲得
米国：衛星通信分野への販売強化、生産能力増強による収益拡大
中国：半導体、通信分野への、競争力のある製品投入・販売強化による収益改善

2025年度 ESGの主な取り組み

■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進
- ・地球温暖化対策:
低GWP冷媒への置き換え、製造など事業活動におけるCO₂排出量削減
- ・生物多様性保全活動:
環境保全事業による貢献、「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進
TNFD提言に基づく自然資本関連情報開示

■S(社会)

- ・人的資本戦略の展開、新しい人事評価制度の運用開始
- ・インターナルコミュニケーションの推進、健康経営宣言・方針の策定、
エンゲージメント調査の実施
- ・女性管理職の育成(2025年4月女性管理職比率9.8%)、障がい者雇用の促進と定着化
- ・信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入

■G(ガバナンス)

- ・BCPの再構築
- ・人権方針の策定

AIサーバー市場向け新製品

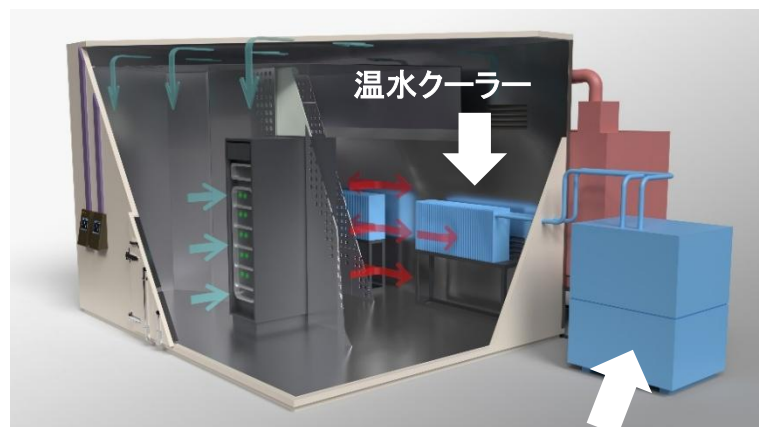
■高発熱負荷対応 恒温恒湿室ウォークインチャンバー

- ・2025年10月、AIサーバーの信頼性評価用として、高発熱負荷に対応した2機種を発売
- ・サーバーによる発熱負荷(30kW、60kW)に対し、独自の制御システムにより精密な温湿度制御を実現
- ・サーバーの信頼性評価に適用される試験規格ASHRAEに適合した試験が可能



恒温恒湿室ウォークインチャンバー

＜試験室の内部イメージ＞



温水クーラー専用チラー

従来の空調システム+温水クーラーを使った空調システムの組み合わせにより湿度環境にて60kW以上の発熱負荷に対応

TOPICS 2

AI半導体・自動運転市場向け新製品

■高度加速寿命試験装置(HAST CHAMBER)

EHS-222M-L

- ・2025年10月、高度加速寿命試験装置に、大型基板の試験に対応したモデル(EHS-222M-L)をラインアップ
- ・一度の試験で大量の試料を評価することが可能
- ・電子部品等の開発期間短縮と高信頼性の確保に貢献



高度加速寿命試験装置 EHS-222M-L

■急速温度変化チャンバー TCC-151W-20

- ・2025年4月、急速温度変化チャンバーに試料温度を20°C/分で制御可能なハイパフォーマンスモデルをラインアップ
- ・半導体パッケージの信頼性試験規格、エレクトロニクス、自動車市場などの国際規格に適合
- ・低GWP※冷媒「R-449A」を標準搭載



急速温度変化チャンバー TCC-151W-20

※GWP:地球温暖化係数。値が小さいほど環境負荷が少ない

「あいち次世代モビリティ・テストラボ」サービス開始 車載用バッテリーおよびEV・自動化モジュールの試験需要に対応

■あいちバッテリー安全認証センター

- ・国内最大級の車載用バッテリー専門試験所として2025年2月開設
- ・最新の試験設備により、車載用バッテリーの大型化・大容量化に対応
- ・国連規則ECE-R100の安全性試験をはじめとする各種試験規格に対応



あいちバッテリー安全認証センター
(愛知県常滑市)

■豊田試験所

- ・当社最大の総合試験所である豊田試験所の機能を拡張(2025年4月サービス開始)
- ・e-Axle・PCU・ECUなど供試品の大型化に対応
- ・EV・自動化モジュールの動作状態での使用環境を再現し、評価・計測するサービスを新たに強化



豊田試験所(愛知県豊田市)

社外からの評価

■ ESG関連の評価

- ・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」組み入れ
ESG指数「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」組み入れ
- ・CDP 気候変動分野の調査で5年連続「Bスコア」、水セキュリティは「B-スコア」
「サプライヤーエンゲージメント評価」では、3年連続最高評価の
「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
- ・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ
「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選定
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 SDGs経営編」3.5星
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」3つ星
- ・神戸R&Dセンターが全国みどりの工場大賞「経済産業大臣賞」受賞
- ・厚生労働大臣より「子育てサポート企業」として「プラチナくるみん」取得
- ・大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」認証にて
「三つ星認証」「イクメン推進企業認証」取得

■ IRサイトの評価

- ・「大和インターネット IR表彰」優良賞
- ・日興アイ・アール「全上場企業ホームページ充実度ランキング」最優秀サイト
- ・「Gomez IRサイトランキング」銅賞(業種別17位)
- ・「Gomez ESGサイトランキング」優秀企業



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

サステナビリティ推進部 IR・広報グループ

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

Quality is more than a word

ESPEC